

# 2018年1月12日 第3228回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 小林 会長  
 <斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」  
 <唱 和> 「四つのテスト」  
 <ゲスト紹介> \*公益社団法人横須賀青年会議所

理事長 泉 谷 翔 様  
 専務理事 齋 藤 順 也 様  
 副理事長 大 黒 健 司 様・中 本 剛 様  
 " 門 井 秀 孝 様・前 田 裕 子 様  
 \*通訳 高 橋 栄 子 様  
 \*米山奨学生 金 聰 勅 様

- <誕 生 月 祝> \*江 沢 暁 彦 (S. 16. 1. 1) \*小佐野 圭 三 (S. 19. 1. 5)  
 \*福 西 美 子 (S. 12. 1. 5) \*鈴 木 豊 司 (S. 48. 1. 8)  
 \*中 島 茂 (S. 23. 1. 8) \*増 田 幸 司 (S. 45. 1. 16)  
 \*齋 藤 秀 人 (S. 42. 1. 24) \*曾 我 宗 光 (S. 45. 1. 26)  
 \*鈴 木 孝 博 (S. 41. 1. 27) \*原 田 早 苗 (S. 50. 1. 27)  
 \*飯 塚 進 一 郎 (S. 25. 1. 28) \*野 坂 英 八 (S. 4. 1. 29)  
 \*鈴 木 嘉 明 (S. 41. 1. 29)

各会員  
 両会員

- <入 会 月 祝> ・清 水 格 ・三 堀 孝 夫

- <会 長 報 告> \*国際ロータリーより  
 ・ロータリーレート変更のお知らせ 1月より1ドル114円 (現行112円)  
 \*ガバナー事務所より  
 ・下半期 人頭分担金送金依頼について  
 ・青少年交換学生のための日本語講師紹介/推薦のお願いについて

- <委 員 長 報 告> \*雑誌委員会 澤田委員長よりロータリーの友1月号  
 \*出席委員会 福西副委員長より12月分出席報告 12月平均出席率 72.14%

	会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
12月1日	114名	98名	65名	33名	3名	69.39%
8日	114名	96名	57名	39名	9名	68.75%
15日	114名	98名	65名	33名	4名	70.41%
22日	114名	104名	79名	25名	5名	80.00%

- <幹 事 報 告> \*ガバナー月信 NO. 7

- <出 席 報 告> \*出席委員会 福西副委員長より1月12日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メークアップ数	出 席 率
114名	102名	74名	28名	2名	74.51%

## <ニコニコ報告>

- ・三 役 公益社団法人横須賀青年会議所理事長 泉谷 翔様他、理事の皆様ようこそお越しく  
 さいました。ゆっくりお楽しみください。
- ・岡 田、吉田 備、山 下、八 巻、上 林、新倉 侑、臼 井 各会員  
 公益社団法人横須賀青年会議所理事長 泉谷 翔様他、理事の皆様ようこそお越しく  
 さいました。ごゆっくりとお過ごし下さい。
- ・前 川、佐久間、齋藤 眞 各会員 金 聰勅様ようこそお越しくさいました。ごゆっくりお過  
 ぎし  
 ください。
- ・江 沢、小佐野、福 西、鈴木 豊、中 島、増 田、

- 原 田、飯 塚、鈴木 蘭 各会員 誕生月祝いとして
- ・三 役 新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいいたします。
  - ・三 役 徳永会員、鈴木隆裕会員、本日の年男卓話よろしくお願ひします。新年最初の卓話楽しみにしております。
  - ・角 井、澤 田、大 竹、鹿 島、丸 山、長 尾、勝 間、長 澤、鈴木 蘭、上原 公、福 西、若麻績、渡 邊、鈴木 蘭、根 岸、前 田、田 邊、秋 本、江 沢、飯 塚、小佐野、波 島、濱 田、小 山、久保田、大 野、町 田、藤 原、齋藤 眞 各会員  
徳永会員、鈴木隆裕会員、年男卓話楽しみにしています。ワン！！ダブル～。
  - ・徳 永 会員 今年の卓話、初打ちをさせていただきます。
  - ・鈴木 蘭 会員 本日卓話をさせていただきます。宜しくお願ひ致します。
  - ・猿 丸、松 村、北 村、高橋 勲、丸 山、信 木、勝 間、明 野、長 澤、福 西、前 川、藤 村、飯 塚、波 島、池 上、平 松、門 井、岡、大 野、上 林、齋藤 眞 各会員  
皆様おめでとうございます。ワンダブルな一年になりますように。
  - ・勝 見、Enora、谷、若麻績、濱 田 各会員 成年です。年男・年女です。おめでとうございます。
  - ・田 邊 会員 写真をいただいて。

## <卓 話>

## 「 成 年 に 寄 せ て 」



### 徳 永 良 輔 会 員

皆様、明けましておめでとうございます。今年最初の卓話の榮譽をいただいた、昭和9年5月4日生まれ 数え年84歳 成年の徳永です。私は、平成14年7月に、横須加ロータリークラブに入会させていただきました。それから今年までの間、成年は平成18年一回切りですが、その時のご指名を頂き、なにかしゃべった記憶があります。このように、周りからなにか言われると断れず、「ハイ」と簡単に受けてしまうのも、成年の特徴のようです。

十二支とは何でしょうか。私は勉強したわけではないので、詳しくは知りませんが、何でも紀元前17世紀頃中国の殷の時代に云われ始めたようで、12年で天を一周する木星の軌道上の位置を示す任意の数詞だったようです。因みに当クラブの名簿を見ると、成年の方は私の他に幹事の勝見さんをはじめ、8人もいらっしゃいます。

本によりますと「戌」は、十二支のひとつ、通常十二支の中で、第11番目にかぞえられ、西暦を12で割って2が余る年が戌年の年となっているそうです。今年2018年。12で割ると168余り2です。でも、我が国で十二支が言われるようになったのと日本に西暦が入ってきたのとどちらが早いのかと考えると、12で割って云々というのは、あとからの話ですね。

さて、戌年の人は、あまり社交的ではないそうです。なんとなく分ります。更に、戌年の戌は、良犬のことを指しており、12支の動物の中では最も誠実であり、人から好かれると云われています。ほんとうにそうでしょうか。忠犬ハチ公なんかは、戌年の代表なのでしょうね。戌年の人は「正義感が強く、正しいことをする」「協調性がある」「まじめで働き者」「思いやりがあって親切」「忠誠心が強い」「他人に対して威張らない」「面倒見が良い」「神経質な一面もある」とあります。いいことばかりですね。ところが、折角良い事が書かれていたのに、とんでもない事も書かれていました。60年に一度来る甲戌生まれ（現存する中では昭和9年生まれと平成6年生まれ）の人は、狂犬というそうです。この年には、正に私が該当します。本性は至極温厚ですが、一旦行動を起こすと、誰彼の容赦なく噛みつくところがあるそうです。ご用心ください。因みに十二支で云うと我が家では、3人いる娘の一人が、丙午（ひのえうま）で、この年に生まれた女性は、気性が激しいそうでして、私と家内が同じ年の甲戌、娘の一人が丙午と、荒々しいのが3頭（疋？）いることになります。

これまでの長い人生の中でいろいろな仕事をやらせていただきましたが、世間では、一般的には、どちらかというと右よりの総合商社に勤めた人間として、「やばかったかな」と思うことが一つありましたので、お話をしてみます。私は、昭和32年慶応を卒業して、当時の丸紅飯田株式会社に入社しました。4年あまりの大阪本社勤務を終えて、東京支社に転勤しました。入社9年目のある日、大阪時代に大変世話になった人で、その後、丸紅従業員組合の副委員長だった人から、数人が呼ばれて、銀座でおいしいお寿司をごちそうになったあと、ホテルの一室に連れていかれました。そこで言われたことは、要約すれば、「来年、本社が東京に移転するので、人事本部も東京に移る。従って、組合本部も東京に移したいが、東京には組合経験者が少ない。そこで、組合としては、勝手に人選した君たちに組合活動を引き継いでもらいたい。この中から、委員長、副委員長、幹事長に立候補する人を決めてくれ。組合大会まで、あまり日にちがないので、今日は決るまで帰さない」という、とんでもないことでした。「そんな無理なことを」といいながらも、段々と夜は更けていきます。結局、戌年でお人好しの私が、代議員の経験すらないのに、一ヶ月後の組合大会で委員長に立候補することになりましたが、他に対立候補などいるはずもなく、そのまま委員長になってしまいました。社員約7千人のうち、課長以上の人や人事部関係者を除いた約4千人の組合員の委員長です。悪いことに、その年に、つぶれかかった或る商社との吸収合併があり、新しく来た人たちの身分保障や給与格差の是正で会社と大もめにもめ、会社にもずいぶん噛みついていたりして、いろいろと危ない、かつ面白い経験をさせてもらいました。当時は、まだ組合役員の専従協定締結交渉中で、日中は会社の仕事、勤務時間が終わって組合の仕事ということで、当時衣笠に住んでいた私は帰宅は連日久里浜行きの最終電車（当時は23:15でした）、朝は6時半ころに家を出て会社に行き、夜の飛行機で地方支店に行き、一晩中支店勤務の組合員と話しして、朝の便で東京に帰って日中仕事という事もありました。ずいぶん苦勞もしたし、家族にも迷惑を掛けたものです。受けてからしまったと思いましたが、「後悔先に立たず」 — 若いときだからなんとかやりましたが、お人好しが生んだ大失敗、でも、楽しい思い出でもあります。

横須賀ロータリークラブには、もうしばらくお世話になりたいと思っています。噛みつかないようにしますので、かわいがってください。

## 鈴木隆裕 会員

皆様、明けましておめでとうございます。1970年、昭和45年2月生まれ、まだまだひよこの47歳 鈴木です。よろしくお願ひします。昨年1年を振り返り、良いこと、悪いこともあったなという振り返ってみました。

悪いことと言うと台風21号が来て伊勢湾台風と似た形でずっと上がって来て南からのうねりがどんどん東京湾に入って来てちょうど満潮の時刻と重なり気圧も低くなって、気圧が低くなると海面が上がってきて全て重なって高潮の状態になり三笠公園も冠水して、うちの船は近くの安全な所に逃げていましたので難は逃れましたが、横須賀、三浦半島、湘南地区はすごい被害になったということはよく記憶しているところです。また、そこは重大な被害があったところと思っています。

思い出に残っているのは年末最後にJRの四季島の豪華列車があり、総工費が約50億円でJR九州で言えばななつ星、JR西日本の瑞風、JR東日本で四季島という超豪華列車の年末年始で横須賀の COUNT DOWNKURUZ を楽しんで頂きました。上野を出まして熱海で美術館鑑賞した後、鎌倉を走り22時30分にJR横須賀に着いてヴェルニー公園に案内人が付いてうちの船に乗船。22時45分に出航して COUNT DOWNKURUZ をする。COUNT DOWNKURUZ、打ち上げ花火を体験した後、外房に行き初日の出、鹿島神宮で参拝、その後上野に戻ると言う1泊2日のツアーに組み込んでいただいたという貴重な体験もしましたし、さすがJRという感じで船の椅子を全部取りJRの椅子を入れ、ケータリングが入り、生の演奏が入り、お客様1組、1組に専用のコンシェルジュが付くとツアーが始まる前から電話でお話をしコミュニケーションを取り、ツアーの間ずっと付き添いでいてツアーが終わってからもコミュニケーションを取りながらという四季島のツアーを選んでいただいて有難い貴重な経験したなということがありました。代金お一人様65万円。これが高いところから全て埋まり、倍率が10何倍、すごいブランド力だと。そのような経験をしたので、何時かそのようなお金、時間の使い方をできたらいいなと思います。私は船は大好きですけれどもなかなか電車のほうには興味を持たなくて、それはそれは豪華なお客様が来られるのかなと思いきや普通のおじさん、おばさん、中にはお子さんもいました。一般的なお客様でちょっとびっくりしました。なかなか世界は広くて意外な事があるなと思いました。

今回 年男ということでこの機会をいただき12年前と24年前の私をちょっと振り返る良い機会なので振り返ってみました。ちょっと面白かったです。12年前は横須賀市制100周年の1年前のプレ100周年のイベントをやっていた。その時、私はトライアングルにいたのですが、汐入から軍港クルーズをやらせてもらっていますが、その軍港クルーズを始める前の前の年になるので市役所、関係各所の調整を日々猿島航路をやりながら走り回っていたのを覚えています。24年前、平成6年は猿島航路が始まったのが平成7年なので準備で船を買ったり、練習したり整備したり、その時は船長で走り回り、スタートするところで忙しくしていたのを覚えています。そこをちょっと考えますと戌の年に一生懸命走ってその次の年に何かが始まるというのが、私の中であるんだなと思いました。今年はというと大手企業様とのコラボが今年目白押しにあるのでコラボしながらがむしゃらに走る中で来年何か開けていくのかなと個人的に思っています。東京ディズニーシー、ワンピース、AVEXとのコラボ、船の自動操行のところで大手企業様とのコラボもありますので、楽しみにしながら走り回り、来年に繋げて行きたいと思っています。頑張ります。今まで以上に皆様の力をいただきたいと思っています。宜しくお願ひします。

<閉 会> 13:30 小林 会長

週報担当 猿丸 新二